

2023年7月25日

2327号

(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物認可

1部140円月額400円(郵便料月額126円)



発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9 平和会館

電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)-6277

振替 00100-4-83731

E-Mail(編集部) heishin@j-peace.org

<http://j-peace.org>

E-mail: kyo-hei@crest.ocn.ne.jp 編集 京都平和委員会 Tel.075-811-3203 Fax 075-811-3213

今こそ戦争準備を止めさせる先頭に京都平和委員会が！

京都平和委員会第64回定期総会、日本平和委員会第73回全国大会が開催！！



総会終了後、早川さん、辻さんを囲んで記念スナップ

**岸田内閣の大軍拡路線を
平和委員会の運動で止めさせよう！**
京都平和委員会第64回定期総会(6月17日)で
活発な討論がおこなわれました！

戦争か平和かが問われる今、京都平和委員会第64回定期総会(6月17日)、日本平和委員会定期全国大会(6月24〜25日)が開催され、次の1年の活動方針が討議されました。

総会では片岡理事長作成の学習資料が配布され、陸自祝園弾薬庫、海自舞鶴基地の強靱化など安保3文書の具体化が進められる京都の情勢を学習した後、反核平和、憲法を守る運動、日本平和大会にむけての取り組み等、京都平和委員会のこの1年の活動が

報告された。討論では参加者から「この総会では、岸田内閣の大軍拡路線をどうやって止めさせるか真剣に議論する場にすべき」(亀岡)、街頭宣伝やSNS等により「平

和委員会の活動を広く知らせることが必要」(安倍京都)、[Twitter]により、思わぬ人から反応があつて驚いている」(立命館)等の発言や「コロナの関係で会員が減っているが、戦争はいけないことを子どもたちに広げる取り組みが求められている」(山科)など、今この時だからこそ、平和委員会の役割が重要だとこの発言が相次いだ。

**新しい副会長、理事を迎え、
京都平和委員会の
更なる飛躍を！**

今年度、組織の運営が困難になった地域もあり、現勢の後退を生んでしまいました。他方この1年に学生会員が3人増える等、新しい希望も生まれています。司令部の地下化など強靱化が進められる舞鶴からは「岸田政権は戦争国家づくりに大きく舵を切った。私たちは覚悟を持ってたたかう必要がある」と日本平和委員会が提起するピースチャレンジヤーに3人が申込む等、新たな動きが始まっています。総会では、新しく副会長

に早川幸生さん(山科)と常任理事に辻昌秀さんを選出し、来年の総会までには600人会員(現575人)、500人読者(現475人)を回復させることを確認しました。

戦争国家へカジを切った以上、私たちの運動も進化しなければ！
舞鶴・高橋一郎さん
(第73回定期全国大会での発言要旨)

日本国憲法は私の1年先輩です。その背中を見て歩んできました。愛する日本国憲法が日々の暮らしのすみずみで生きて働いていてくれることを実感する毎日です。そして憲法12条は、今日を見通してか、不断の努力でこれらの権利を保持せよと叱咤激励しています。

先輩の日本国憲法は、今回の大軍拡・大増税その大闘争でも頼りになる私たちの味方です。舞鶴の海上自衛隊司令部などの地下要塞化、核兵器にも備える地下化、他国への攻撃を想定した貫通力とクラスター機能を持つトマホークの全イージス艦への配備。寝耳に水の恐ろしい自衛隊改造計画です。経ヶ岬の米軍レーダー基地、その射撃訓練でも利用される福知山の陸上自衛隊。そして舞鶴の2隻のイージス艦で、京都府北部には戦争に備えるトライアングルが形成されています。戦争という手段をとらない、戦力を持たない、交戦権を認めないとしたこの国の形を変えざることを許してはなりません。

地下要塞化撤回を めざして

総監部へ、地下要塞化の計画に抗議しその撤回を申し入れた1月には、核兵器に備える”もの”はわかっていませんでした。国会の質疑を通して明らかにされたその恐ろしさは切実です。主権者・住民にとって我慢の限界です。5月には市長に対し、防衛省に住民説明会を開催するよう求めよと要請しました。舞鶴のメーデーでは、地下要塞化反対のプラカードが注目され、新聞にも
(次頁へ続く)

報道（毎日新聞より）されました。

今回の国の形を変える一大事の震源に、集団的自衛権を全面的に行使できるように求める動きがあります。その根源は日米安保条約です。

戦争国家へカジを切った以上、私たちの平和を築く運動も抜本的に進化しなければなりません。戦争をさせないという一点ですべての人が力を発揮してくれるよう願っています。「戦争回避の運動を始めました。賛同してくださいませんか」と働きかけ、すべての人の心と力を結集して、日本国憲法を生かすまともな政府の実現に残る人生を尽くしたいと思えます。



舞鶴の現状を訴える高橋さん

(画像は5月の憲法集会時に撮影)

2023世界大会の意義
7月6日に開催された日本原水協拡大担当常任理事会で、「目前に迫った世界大会は、『核兵器のない世界』と非核平和の日本の実現にとって極めて重要な意義」があるとして、

岸田政権による大軍拡反対！

核兵器禁止条約に参加する

日本を求め世論と共同をひるげよう！

原水爆禁止2023年世界大会を成功にむけて！

今年の原水爆禁止世界大会は、ロシアによるウクライナへの侵略が続き、ベラルーシに戦術核兵器が配備され、それに対抗してNATOによる大規模の演習がされ、「軍事」対「軍事」という、実際に核兵器が使用されるかもしれない危険な状況の下で開催されることになりました。

このような危険な状況がある一方で、核兵器禁止条約への署名・批准国は増え、(署名: 92ヶ国、批准: 68か国)核兵器廃絶を求めている世界の動きは前進しています。原水爆禁止2023年世界大会の成功は、一層重要になっています。

「国連、市民社会の共同を発展させ、すべての核兵器保有国に核兵器禁止・廃絶にかかわるすべての合意の実行を迫る」等をあげています。

世界大会の意義や核兵器廃絶の取り組み等について、世界大会パンフレット「核兵器のない平和で公正な世界」や「平和新聞」でも世界大会についての情報が掲載され、これらの資料を利用して学習することが必要です。
*2023年世界大会は、オンライン配信で視聴できます。申し込み、問い合わせは京都原水協までお願いします。
電話 075-811-3203



【京都平和委員会新常任理事のご挨拶】

平和を思う

辻 昌秀さん

みなさんはじめまして。総会で理事に選出されました。どうぞよろしくお願いいたします。まず、平和委員会との関わりのきっかけについて。私は京都憲法共同センターの事務局長などをしていましたが、米軍基地問題に戸田さんと一緒に取り組んでから会員となり、今に至っています。さて、私は90年代に知人の紹介で読んだ「鬘子」以来、古代中国をテーマにした宮城谷昌光氏の小説にはまっていました。厳密でリズム感のある言葉遣いがとても気に入ってました。古代中国(紀元前500年前後～)にでてくる世界は、戦争に明け暮れる時代でしたが、独裁者は必ず破綻しました。孔子にはじまったとされる儒教は、孟子の「徳治主義」に至り、武力による覇道を批判しました。今の日本政府は、意識的に敵を作り、軍事拡大に走っています。平和憲法は生かされず、捨てられようとしています。彼らが言う「法による支配」は虚像です。健康上の制約がありますが、ごいっしょに尽力していきたいと思えます。



理事就任の抱負を語る辻さん

公開学習会のお知らせ

立命館大学ではピース・ネットワークが発足し、

7月に公開学習会を開催します!!

○テーマ 「クリミア併合後のヨーロッパの平和・

安全保障環境の変化」

○話題提供者 山崎文徳さん(経営学部教員)

○開催日 2023年7月28日(金)

11時35分～12時25分

○開催形態 対面(会場: 敬学館1階S102)

& オンライン

<参加申込方法>

下記 URL より申込

<https://questant.jp/q/23PEACE01>

申込締切 7/27(木)午前10時

27日午後に参加 URL を送付します